

「金丸君の活動に迫る！」



★SDGs（主に海洋プラスチック）に興味を持ったのはなぜ？

やはり海が好きであることがきっかけです。もともと海が好きで、よく遊びに行っていました。そのような中、海がごみでいっぱいであるということに気付いたのです。台風の後などは特に多いのです。このごみはどこから来ているのだろうか、どうしたら良いのかと疑問に思うようになりました。

最初の頃は自主的に週1回ごみ拾いを実施していました。それでもごみの量は減らず、増えていく一方でした。こうなったら発生源から止めていかなければならないと思いました。しかし、その時は自分1人の力では何もできませんでした。どうしようか考えながら、インターネットで調べたら「少年少女国連大使」というものを見つけました。これであれば、海外で先進事例を学べ、何かできるようになるのではないかと、それを日本に広めれば発生源を絶てるのではないかと思い、応募しました。

★「少年少女国連大使」になっていかがですか？

「少年少女国連大使」という名前に興味を持ってくれ、なんだろう？と調べてくれる人もいたので発信力は強くなったと思います。

また、「少年少女国連大使」は海外研修から帰ってきた後の啓蒙活動こそが真の目標なのです。各担当の青年会議所が様々な講演会を開いて発表の場を用意してくれるので、広く情

報発信することができます。

実は「少年少女国連大使」になる前は人前で発表する勇気もなく、活動的ではありませんでした。しかし、SDGsの先進国であるスイスやスウェーデンを訪れ、取り組みを実際に見たとき、とても衝撃的でした。日本でも何かしなければならぬという思いが強くなり、そこから自分の考え方がガラリと変わりました。

★「少年少女国連大使」としての役割はどのように感じますか？

「SDGs」への取組の推進を効果的に発信していくことが役割だと思っています。

小学生へ講演することもあるのですが、「SDGs知ってる？」と聞くと、学校の授業等で名前は知っているが、実態は知らない子達がほとんどです。

そのような講演会では自分が橋渡しとして活動することで内容を深め、行動に移してもらうことを目標にしています。

講演会の中でクイズをすると、小学生は真剣に手を挙げてくれます。高校生だと恥ずかしくて手を挙げないのです。そんな小学生の熱意をすくいあげるもの自分の役割だと思っています。

★茅ヶ崎市でどのようにSDGsを啓発していきたいですか。

自分的には制度等で大々的に打ち出すより、個人個人に働きかけていきたいです。自分で気づいてもらって何かしなければならぬと思っしてほしいです。

自分が実施している雄三通りSDGsの活動では、地域の一人一人が「SDGs」という言葉を知らなくても頭の片隅で環境問題について意識をもってほしいと思っています。市民の皆さんにSDGsというメガネを通して物事を見てほしいです。SDGsを潜在意識として持つてほしいです。

市民のみなさんは誰もが消費者なので、消費者に一番近い店舗に働きかけることにしました。店舗に働きかけることで、消費者に気づいてもらうことができると思ったからです。

★茅ヶ崎市のみなさんへメッセージをお願いします！

1人でも怖がらずに行動してほしいです。「1人でも世界は変えられる」と自分は活動する際に話をしています。子どもの力は小さいと思われるかもしれないけれど、子どもが動くからこそ周りの大人達が動くのだと思います。

何か変えたいことがあれば、行動をすることが大事です！